

# 木質バイオマスエネルギーの利用に関するアンケート結果について

## ・目的

各施設のエネルギー需要と木質バイオマスエネルギーに対する認知度や取組み状況を調査することで、木質バイオマスエネルギー導入への課題と対応策を検討し、施設への木質バイオマスエネルギー導入を促進し、雇用創出に結び付ける。

## ・対象施設

温泉入浴・宿泊施設、福祉施設、農業法人 89施設

## ・回答

55件(61.8%)

対象施設種別	送付数	回答数
温泉入浴・宿泊施設	29	15
福祉施設	53	36
農業法人	7	4
合計	89	55

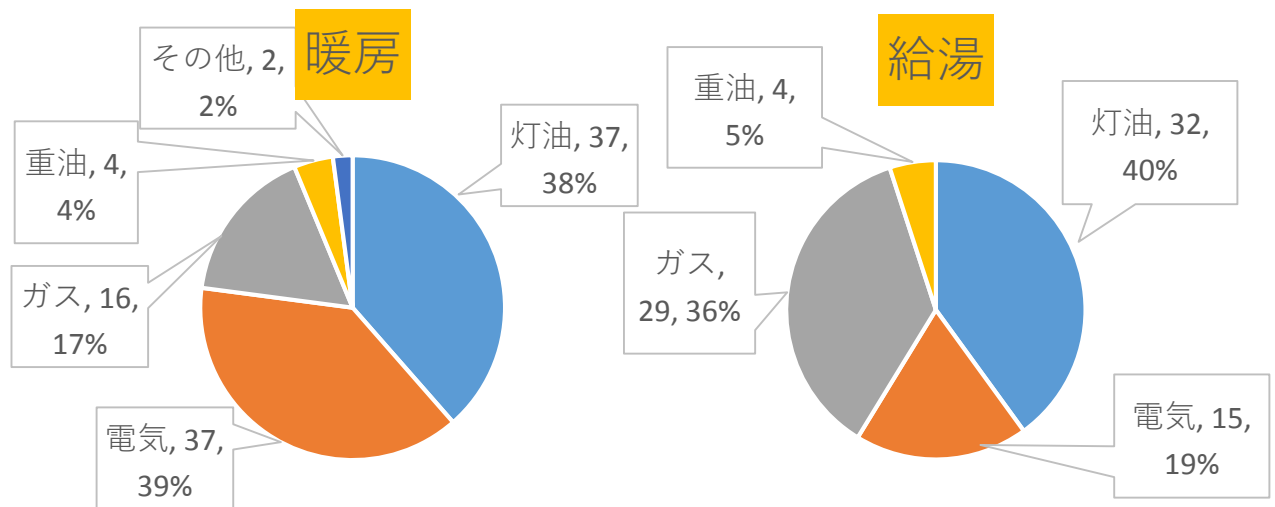
## ・アンケート調査結果

アンケート調査により各施設では暖房・給湯にエアコン、ボイラー、温水器、給湯器等、複数の設備機器を使用しており、それにより灯油、電気、ガス、重油等、多岐にわたるエネルギーの利用がみられた。大半の施設で複数のエネルギーを利用しているため、施設の全ての熱需要を木質バイオマスエネルギーで代替するのではなく、その使用しているエネルギーの1種類を木質バイオマスエネルギーにするという考え方が必要と思われる。

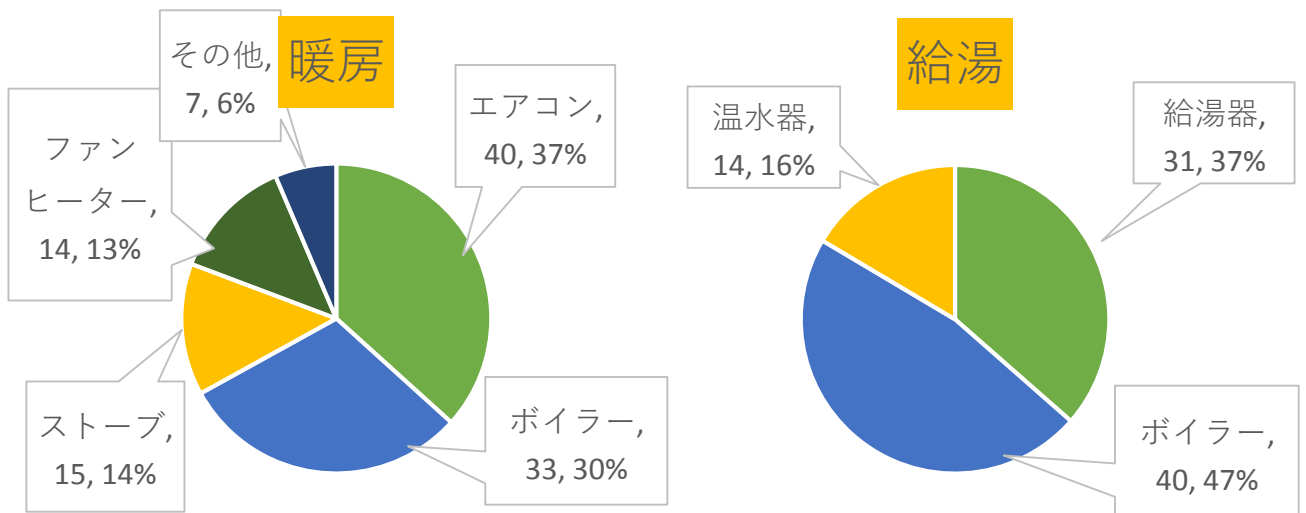
木質バイオマスエネルギーについて、「知っていた」「聞いたことがある」との回答が77%を占め、認知度は高いと考えられるが、木質バイオマスエネルギーの導入について「検討したことがない」という回答が約9割を占めた。また、「導入済み」と回答した2施設はどちらもストーブ(薪、ペレット)の導入で年間の経費も10万円前後と小規模な導入となっている。「検討したが導入に至らなかった」と回答した2施設では、検討した機器はチップボイラー、ペレットボイラーで、導入に至らなかった理由として共通していたのは「設備が高額である」という理由であった。「検討中である」との回答も3施設あり、ストーブ、ペレットボイラー、薪ボイラーの導入が検討されていた。

今後、木質バイオマスエネルギーの導入を検討してもらうために、「機器等の詳細情報」、「助成金の情報」等の情報提供に努める必要があり、情報提供の場として実際の導入施設の見学が有効であると考え

問2と問4 暖房、給湯に使用しているエネルギーについてお伺い致します。（複数回答有。）



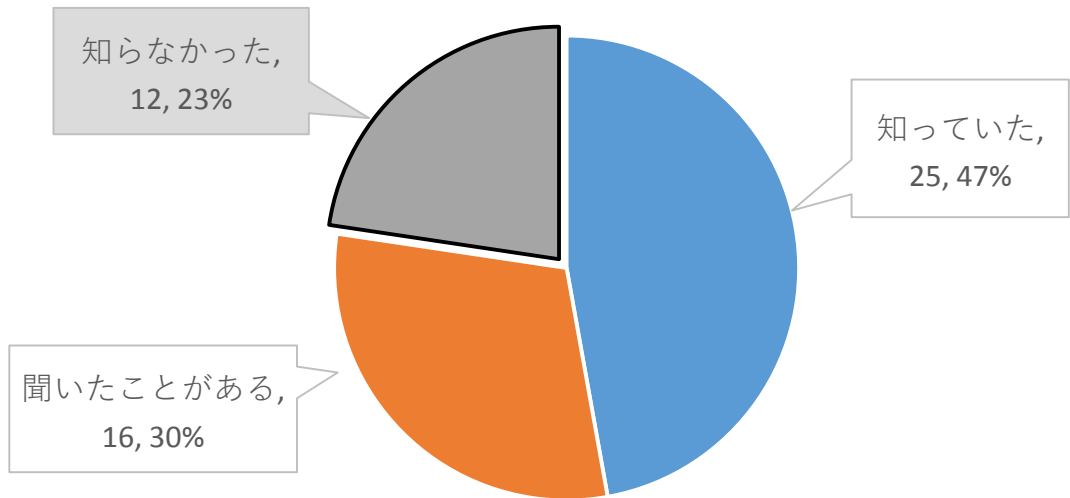
問3と問5 暖房、給湯に使用している設備機器についてお伺い致します。（複数回答有 %以外の数字は件数を表しています）



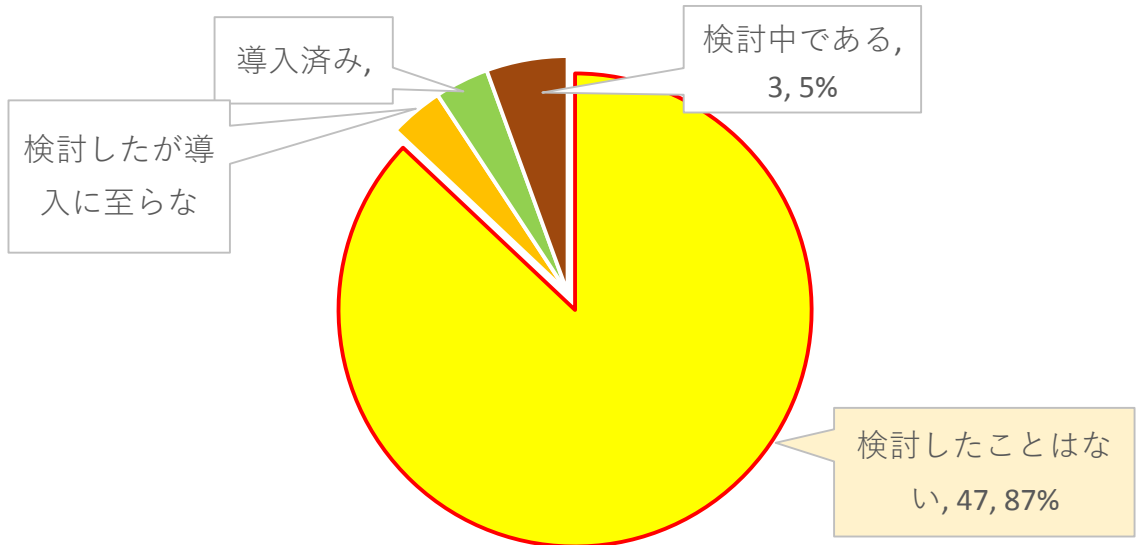
問6 使用しているエネルギー使用量及びそれに掛かる費用は一年間でおおよそどれ位ですか。（複数回答有）

種類	使用施設数	平均使用量	平均費用（円）	備考
電気	30	362,661 kwh	5,541,705	
灯油	27	66,129 ℓ	4,739,957	
重油	4	102,962 ℓ	6,921,587	
ガス	21	51,199 m <sup>3</sup>	4,121,199	
その他	2			薪：150,000円 ペレット：90,000円

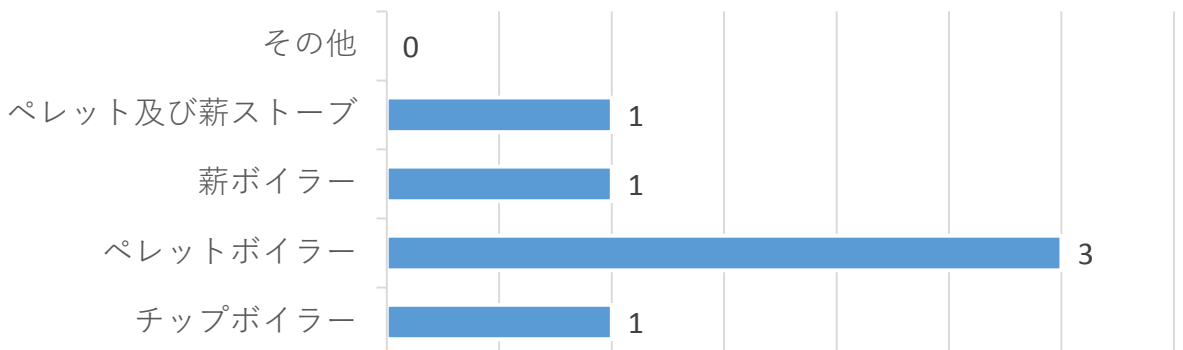
問7 木質バイオマスエネルギーについてご存知ですか。（%以外の数字は件数を表しています）



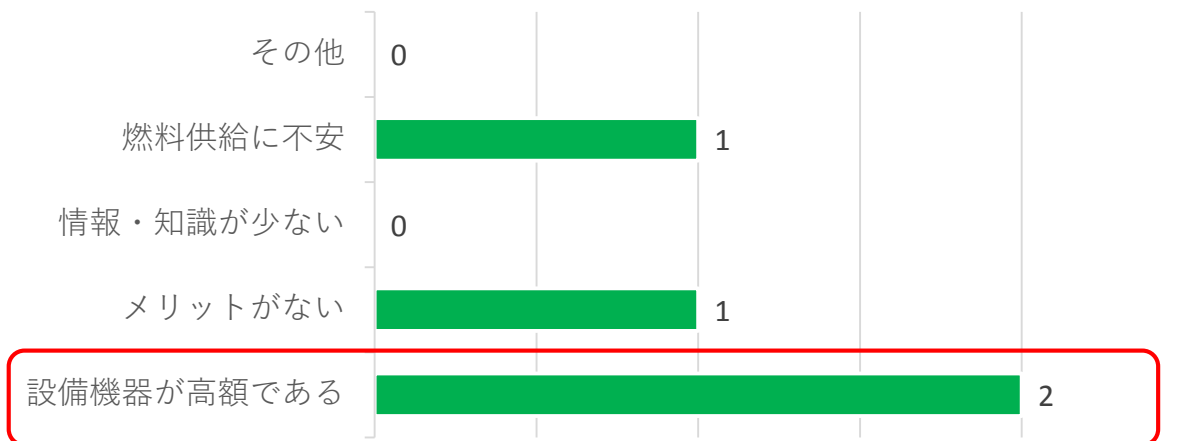
問8 木質バイオマスエネルギーの導入を検討したことがありますか。（%以外の数字は件数を表しています）



問9 導入を検討した機器設備は何ですか。（複数回答有）



## 問10 導入に至らなかった理由は何ですか。（複数回答有）



## 問11 木質バイオマスエネルギーの活用について寄せられた意見。

- ・木質バイオマスエネルギーについての情報が少ない（宿泊施設 代表、福祉施設 管理者）
- ・暖房能力が同程度の薪及びペレットストーブの価格比較をして欲しい。（宿泊施設 代表）
- ・費用と煩雑さを別にすれば薪やペレットストーブに勝るものはない。（宿泊施設 代表）
- ・石油製品に関しては殆ど輸入に頼っている現状であり、今後、木質バイオマスエネルギーの安定供給と設備投資の額等により検討する余地はある。（福祉施設 施設長）
- ・現在使用している設備と比較した場合、機器設備が高額であり木質バイオマスエネルギーを導入するメリットがない。（農業法人 代表）
- ・パンフレット及び資料等があれば、冬期用のハウスの燃料として検討したい。（農業法人）
- ・資源やリサイクルの事を考えると導入したいと思っています。（福祉施設 代表）
- ・公的な補助金があれば即導入したいと思う。（福祉施設 代表）
- ・使用中の機器設備と比べてメリットがない。（福祉施設）
- ・燃料となるチップ等が本当に確保出来るかが不安であり、使用中の設備と比較してメリットがない。（福祉施設 施設長）